



THE SOCIETY FOR HAPPY LIFE OF CATS AND PEOPLE

会報

発行者

平成20年1月20日発行

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

第11号

協議会事務局

PHS:080-3497-2049・045-961-2513

会長

井本史夫

活動レポート (H19秋~H20冬)

区民まつり・健康フェスティバル

お天気にも恵まれた昨年11月3日 区役所にて恒例の区民祭り・健康フェスティバルが大盛況のもと開催されました。

屋外ブースでは

協議会ロゴ入りオリジナルグッズ販売、バルーンアートの実演販売、キャットメイト交流会で会員達が手作りした福猫(猫の置物)、猫(犬)用の食用草の販売等もあり、大変賑わいました。

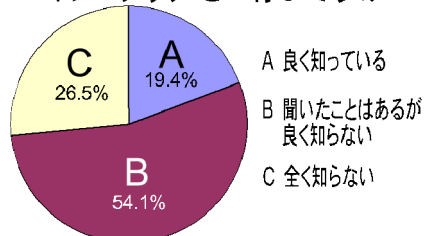
これらの商品の売り上げはすべて不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊・去勢手術など)に充てられます。皆様のご協力ありがとうございました。

スポーツセンターでは

獣医師会による動物の健康相談、神奈川捨猫防止会による飼育相談、「猫ちゃんと一緒にシール写真を撮ろう」コーナーの他、大日本住友製薬の方によるマイクロチップの説明とアンケートが行われました。

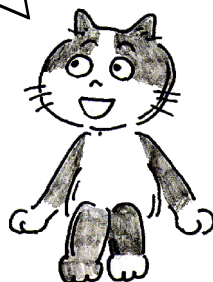
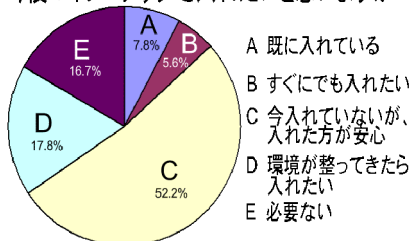
アンケート結果は次の通りです。

マイクロチップをご存じですか?



マイクロチップは僕たちにとってとても安心・安全なもの。でもそれを知らない人々がまだまだ多いね。早くみんなに正しい知識が広まるといいナ。

今後マイクロチップを入れたいと思いますか?

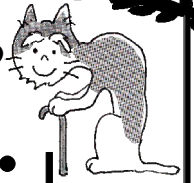


その他のご意見、ご感想

- ・使いたいと思う
- ・すばらしいアイデアだと思う
- ・安心なのか知りたい
- ・便利だと思う
- ・猫の登録項目(毛色)が少ない
- ・費用が高いのでは?
- ・読み取り機械が統一されると是非入れたい→誤解?
- ・埋め込み料金がもう少し安ければ良いと思う
- ・入れるときに問題は無いかな?
- ・話しが聞けて良かった
- ・もっとPRして欲しい
- ・素材・大きさ等もう少し改善を待ちたい
- ・生体への負担軽減
- ・以前犬を飼っていたが、初めてマイクロチップという言葉聞いた
- ・どこに行けば入れてもらえるの?

猫との暮らしを考える 講演会のご案内

「猫の一生・・・」



若い猫ちゃんを飼っている方や、これから猫を飼いたいと思っている方にも必ず役に立つお話です。

獣医学の発展、良質なキャットフードの開発、室内飼いの普及などにより長寿の猫が増えたことは喜ばしいことです。

しかし、長生きすることで病気など数々の問題点も・・・

テレビや講演会等で人気の井本史夫先生が楽しくわかりやすくお話し下さいます。

講師：井本史夫先生

獣医師・井本動物病院院長

(資) 家庭動物総合研究所 所長

東京農業大学 非常勤講師

青葉区ねことの暮らしを考える協議会 会長

著書に『集合住宅でペットと暮らしたい』など多数。

日時：平成20年2月13日(水)

午後2時～4時頃

(受付：午後1時45分～)

場所：青葉区役所3階304会議室 定員80名

先着順に受け付けます。当日直接会場へ

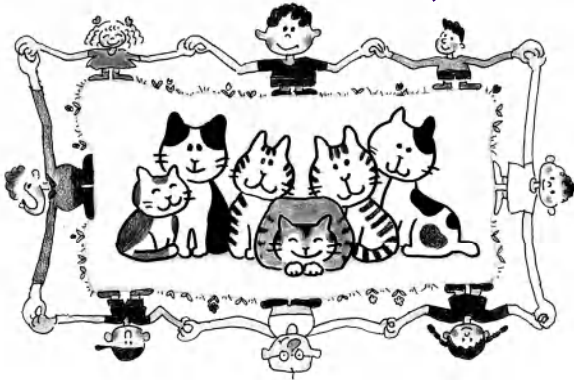
・参加費無料

・ご来場の方にはキャットフードのプレゼントがあります。

(数に限りがありますのでご了承下さい。)

・会員の方に限らずどなたでもご参加いただけますのでご近所お誘い合わせの上是非お出かけ下さい。

チャリティーバザー



『ラブキャットの会』(千草台)

昨年11月25日(日)、キャットメイトグループ『ラブキャットの会』とその支援者達が恒例のクリスマスバザーを開催しました。

「猫好きも猫嫌いも願いは一つ。不幸な猫を減らそう」をコンセプトに皆で頑張りました。地元の方々のみならず遠方からも多数お越し下さり励ましの言葉も頂きました。

他の会員の方々のお手伝いもあり、手作りパンやケーキ、お寿司屋さんのいなり寿司も販売し、売り上げとご寄付の合計は92,115円でした。

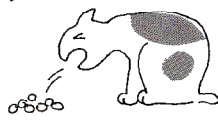
これらはすべて地域猫の不妊・去勢手術代と医療費に充てられます。



老いた猫で気づくこと

理事 井上家の場合

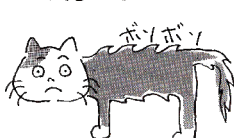
- ① やたらと水を飲み
- ② 吐く回数が多い
- ③ よだれが出たり



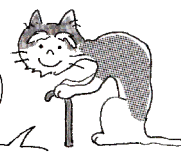
- ④ よく食べるけど やせてきた



- ⑥ もぞくろいや 爪とぎをしない



獣医さんによると ①②③は腎不全、④⑤は甲状腺機能亢進症、④は糖尿病、⑥は栄養状態の悪化などがうたがわれるとの事よ。我が家では 若い時の交通事故の後遺症が出たようで 関節症も患っているの。



人間と同じ。猫も年をとると イロイロあるのじゃ。飼い主の皆様、我々の 体や行動の変化に気づいて下され。そして異常に気づいたら 早目の治療が何よりじゃ。ん。

歯周病は予防できる!?

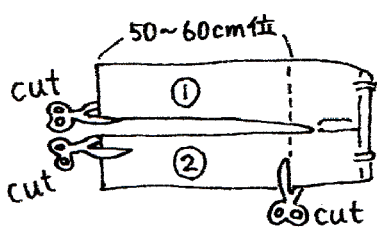
こんな症状を見かけたら、早めに病院へ。

- ・口臭がある
- ・よだれが出て口の周りが汚れている
- ・いつもより食べにくそうにしている
- ・口元を気にして前足で口の周りをこする
- ・上の奥歯が白くない(歯石がある)

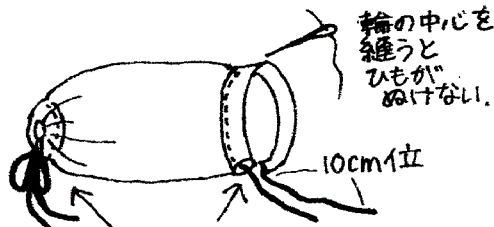
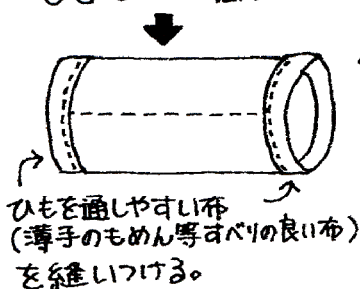
動物病院で歯石を取る時は麻酔をかけることが多いので、遅くとも10歳になる前に連れて行きましょう。



古くなったGパンで作るサバイバルバックの作り方

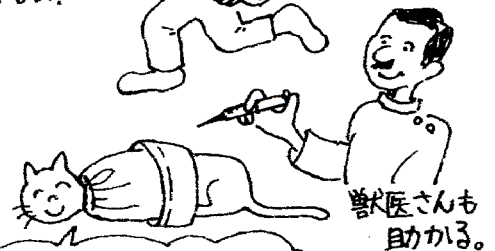


①②をつなげ筒状に縫う。



ひも通し口を作り ずばりの長いひも(綿ロープ等)を通す。

完成



病院嫌いの私でも安心 診察の時も怖くないよ。

キャリーバッグは使用しない時かざるので... という方にもおススメ。

毎月第2水曜日

楽しいキャットメイト交流会

🐾 スタッフ、獣医師を交え、日頃の悩みや健康相談などざっくばらんにおしゃべりしながら楽しい手作りタイムを過ごしましょう。誰にでも簡単にできます。



🐾 キャットメイト以外の方もご参加いただけます。皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

🐾 ご都合のつく短時間の参加でもオーケーです。

この度、横浜市より

「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」が青葉区役所と協働事業等をつながりのある区民活動団体である。と指定されました。

毎月第2水曜日

手作り作品は、今まで区民祭り等での販売しかできませんでした。が、売上金を不妊手術等の活動資金に充てることを条件として、
☆区役所102会議室（ロビー売店横）にて当協議会オリジナルグッズと共に販売ができるようになりました。

販売の機会が増えることにより不幸な猫を増やさないための活動資金の増加が期待できます。

今まで3階会議室等で行っていたキャットメイト交流会を、グッズ販売と同時に102会議室で行うことにいたしました。これにより多くの方々に、当協議会の活動を知っていただけることも期待できます。

会員の皆様のご理解とご協力により、ますますパワーアップの協議会です。

人と猫との共生を目指し、スタッフ一同全力投球で頑張りますので今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

お問い合わせ
協議会事務局 電話：080-3497-2049
青葉福祉保健センター生活衛生課
電話：978-2463~4

2月のキャットメイト交流会は講演会のため2月27日（水）に変更となります。お間違いのないよう



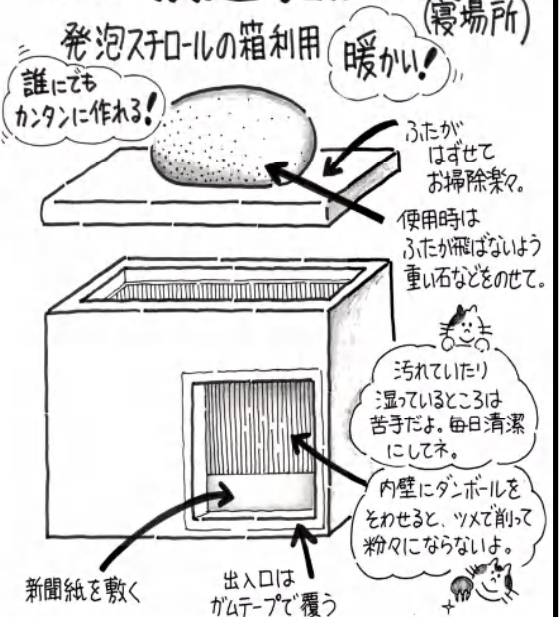
時間：午前11:00～午後5:00
場所：青葉区役所102会議室

当日出席予定の先生方

2月27日 (水)	ピュア動物病院院長 川崎康宏 先生
3月12日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生
4月9日 (水)	ペットクリニックいしかわ院長 石川俊 先生
5月14日 (水)	にし動物病院院長 西康男 先生
6月11日 (水)	武井ペットクリニック院長 武井俊夫 先生
7月9日 (水)	井本動物病院院長 井本史夫 先生
8月13日 (水)	ピュア動物病院院長 川崎康宏 先生
9月10日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生

先生のご都合により急遽変更になる場合があります。10月以降の日程につきましては又追ってお知らせいたします。

冬も快適猫ハウス



当会が不妊・去勢手術を行った猫の告知チラシができました。

「〇〇町のみなさまへ」 外で暮らす猫たちからのお願い

- 僕たち・私たちは去勢・不妊手術が済んでいます
- だからもう、発情期に大きな声で鳴いたりしません
- 臭いつけのおしっこを、かけてまわったりもしません
- これ以上、仔猫が増えることもありません。
- 世話をしてくれる人がいるから、ゴミをあさったりもしません

それでも、外で暮らす猫たちの寿命は長くて数年です…
その数年を、子供たちの友だちとして、〇〇町の一人として
静かに暮らしていけますよう、温かい目で見守ってやって
いただきたく、どうぞよろしく願いいたします。

「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」
080-3497-2049

※ 当協議会は、青葉区が制定した
「青葉区ねことの暮らしガイドライン」を推進しています。

このチラシは現在キャットメイトの方々が世話をしている避妊・去勢手術が済んだ外猫たちのことを、その近隣の住民の方に認識して頂くために使用する目的で作成されたものです。

各キャットメイトさんが世話をしている猫の写真、（又は似顔絵や猫の色や柄の特徴の書かれた文）などと共に、個別に渡して頂くか、ポスティングをお願いいたします。

- ◎人慣れした猫の存在を不審者に知られてしまう。
- ◎新たな捨猫を誘発する。

等の危険性があることから、不特定多数の人が見える場所への掲示物としては使用できません。

このチラシを配布することにより会が世話をしている猫たちや、会の活動についての理解を求め、猫たちやエサやりさんの安全を図ることにもつながることと期待しています。

チラシと詳しい使用説明文をご希望の方は事務局まで。

このチラシがご近所に届けられると
猫に理解のない方への啓発にもなり、
その後の町の雰囲気はずーっと
良くなるんニヤ!



各種お問い合わせは事務局まで

耳カット

外猫の不妊・去勢手術済みのしるし

(不妊手術の麻酔がかかっている間にしてもらいます)



ご寄付のお願い

不幸な猫を増やさない為の活動資金（不妊・去勢手術など）はまだまだ足りません。

当協議会ではこれからも猫との共生を目指し、活動を続けて参ります。

皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

会の活動は会員の皆様の会費を基盤に運営されています。

ご寄付・会費の納入は

下記宛にご入金下さい。

郵便局振り替え口座：00290-6-16690
「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」

講演会当日、会場でも納入をお受けいたします。

捨てられる命をなくすために
人と猫が幸せに暮らせるために
どうぞよろしく お願いします!

